

低コストで質の良い 加工・業務用農産物の安定供給技術の開発(拡充)

【411(363)百万円】

対策のポイント

米粉利用の加速化に向けた研究開発を強化します。また、国産農産物の需要確保のため、加工適性が高く低コストで適時調達可能な加工・業務用農産物の生産技術を開発します。

(米粉利用の加速化)

米粉利用に適する多収品種：米粉利用を加速化するためには、実需者評価を踏まえた多収品種の選定が必要です。

政策目標

- 米粉利用を加速化するため、用途ごとに加工適性の優れた多収品種の選定を2年で実施
- 高品質な加工・業務用農産物を低コストで安定的に生産できる技術を開発し、食料自給率向上に貢献

<内容>

1. 米粉利用を加速化する基盤技術の開発(拡充)

米粉利用を加速化するため、加工適性に優れた多収品種の選定、米粉パンの品質劣化防止技術の開発等の基盤技術の開発を行います。

2. 輸入品に対して優位性を発揮できる高品質な加工・業務用農産物の開発

豆腐加工適性の高い大豆等新しい特性を持つ畑作物、スライスに適したトマト、カット野菜・フルーツの加工後の鮮度保持技術等の開発を行います。

3. 超省力・低コスト化技術確立による生産性の飛躍的向上のための技術開発

加工用甘しょ、馬鈴しょの貯蔵技術の開発、機械化一貫体系によるカット用キャベツ生産技術、トマトの周年多収栽培技術等の開発を行います。

4. 研究機関、生産者、食品産業の共同(モデルコンソーシアム)による加工・業務用農産物の利用技術の開発

新規育成品種・系統について、生産現場での高品質安定栽培技術、その生産物を利用した加工利用技術を各機関の連携により総合的に開発を行います。

<実施主体等>

実施主体 民間団体等
実施期間 平成18年度～平成22年度

[担当課：農林水産技術会議事務局研究開発官(食料戦略) (03-6744-2214(直))]